

元のクイックガイドの翻訳

# XL3000flex, XL3000flexRC

リークテスト

カタログ番号

520-200, 520-201

ソフトウェア バージョン

V3.11 (デバイス動作)



INFICON GmbH  
Bonner Straße 498  
50968 Köln, Germany

# 目次

1 警告.....	4
2 安全.....	5
3 クイックガイド.....	6
4 説明.....	7
5 設定.....	13

# 1 警告

## 危険

死亡や重傷に至る差し迫った危険な状況

## 警告

死亡や重傷に至る可能性がある危険な状況

## 注意

軽傷に至る危険な状況

## 注記

環境または物的な損害が生じる危険な状況

## 2 安全

クイックスタートガイドは、XL3000flex漏れ検知器の取扱説明書に取って代わるものではありません。

安全に使用するために、取扱説明書をさらに重要な説明とともに読んでください。マニュアルはUSBスティックまたはINFICONのホームページにあります。

USBスティックが付属しています

### 危険性

この測定機器は、最新かつ広く認められている安全規則に基づいて製造されています。

それにもかかわらず、不適切に使用された場合、ユーザーまたは第三者の生命および身体への危険、あるいは装置の損傷およびその他の物的損害につながる恐れがあります。

デバイス内部には高電圧が発生しています。通電部品に触れると死亡に至る可能性があります。

- ・ リークテストを開始する前に、電氣的に動作する検査対象品から電源を切り離してください。許可なく電源が供給されることのないようにしてください。
- ・ 装置を電源に接続する前に、デバイスの指定電圧と使用環境の電圧が一致していることを確認してください。

## 3 クイックガイド

### 対象の用途

XL3000flexは、スニファー法によるリークテストのためのヘリウムまたは水素リークディテクターです。本デバイスにより、検査対象品のリーク箇所を特定し、定量化することができます。

テストオブジェクトには、常に陽圧のガスが充填されています。テストオブジェクトの外側から、スニファーラインでガスの流出を調べます(スニファー法)。

操作説明書に記載されている方法でデバイスを操作してください。

### ユーザーへの要求事項

- ・ 安全上の注意と危険を念頭に置いて、本取扱説明書を遵守し、適切な用途にのみ使用して装置を操作してください。
- ・ 完全な技術的状态にあり、損傷がない場合にのみ装置を操作してください。
- ・ 以下の規則を遵守し、コンプライアンスを監視してください:

### ユーザーの要件

- ・ 操作者が発行した操作説明書および操作説明書、特に安全および警告の指示書を読み、観察し、従う。
- ・ すべての作業は、完全な操作説明書に基づいてのみ実行してください。
- ・ 取扱説明書に記載されていない操作やメンテナンスに関する質問がある場合は、INFICONカスタマーサービスに連絡してください。

## 4 説明

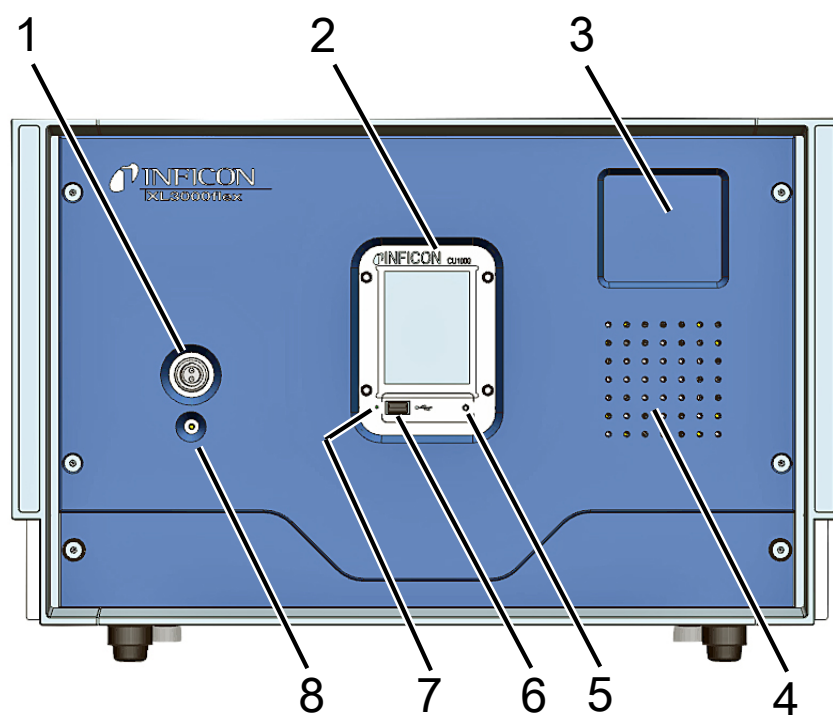
### 納品範囲

品目	数量
XL3000flex または XL3000flexRC <sup>1)</sup>	1
USBフラッシュドライブ(各言語の取扱説明書およびクイックガイド)	1
ファン用フィルターセット	2
固定セット	1
US向け電源ケーブル	1
電源コード(英国)	1
電源コード(日本)	1
EU向け電源ケーブル	1
出荷検査成績書	1
リセットピン	1
クイックガイド	1

1) 標準納品範囲のXL3000flexRCは、データケーブルおよびコントロールユニットCU1000を含みません。どちらも、本書で説明している機能に必要なものです。

- ▶ 製品の受け取り時に、すべての品目が揃っていることを確認してください。

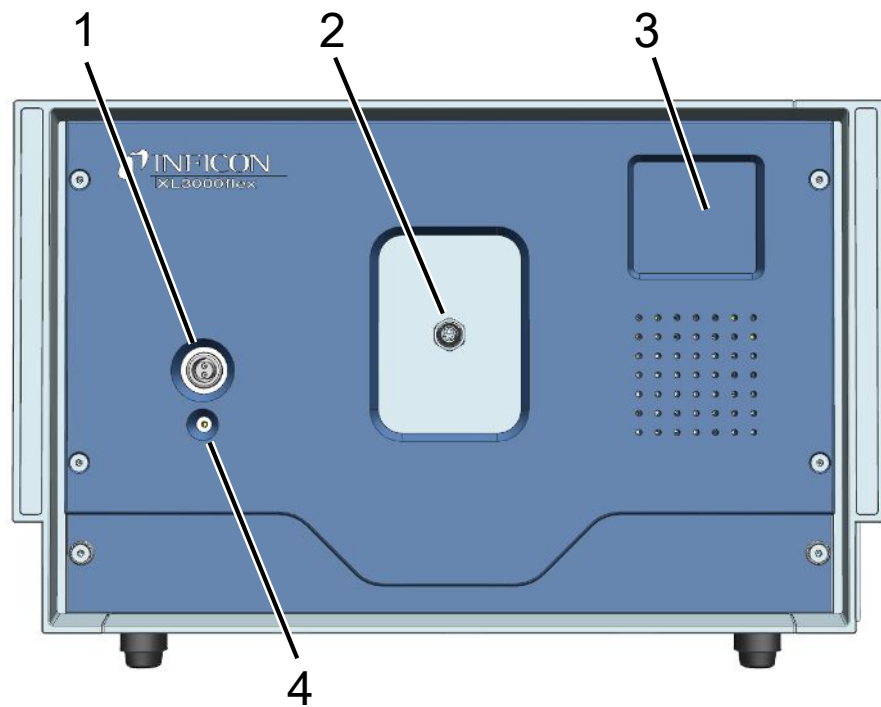
## XL3000flex: フロントビュー



1	スニファーラインSL3000XLの接続ポート	5	コントロールユニットのステータスLED 点灯: 通常作動中 点滅: 省電力モード作動中
2	タッチスクリーン	6	USBフラッシュドライブの接続ポート
3	スニファーライン用ホルダー取付位置	7	リセットボタン。リセットピンにより作動可能
4	スピーカー	8	デバイスのステータスLED。ステータスLEDが連続的に点灯している場合、スニファーラインに電圧が供給されます。

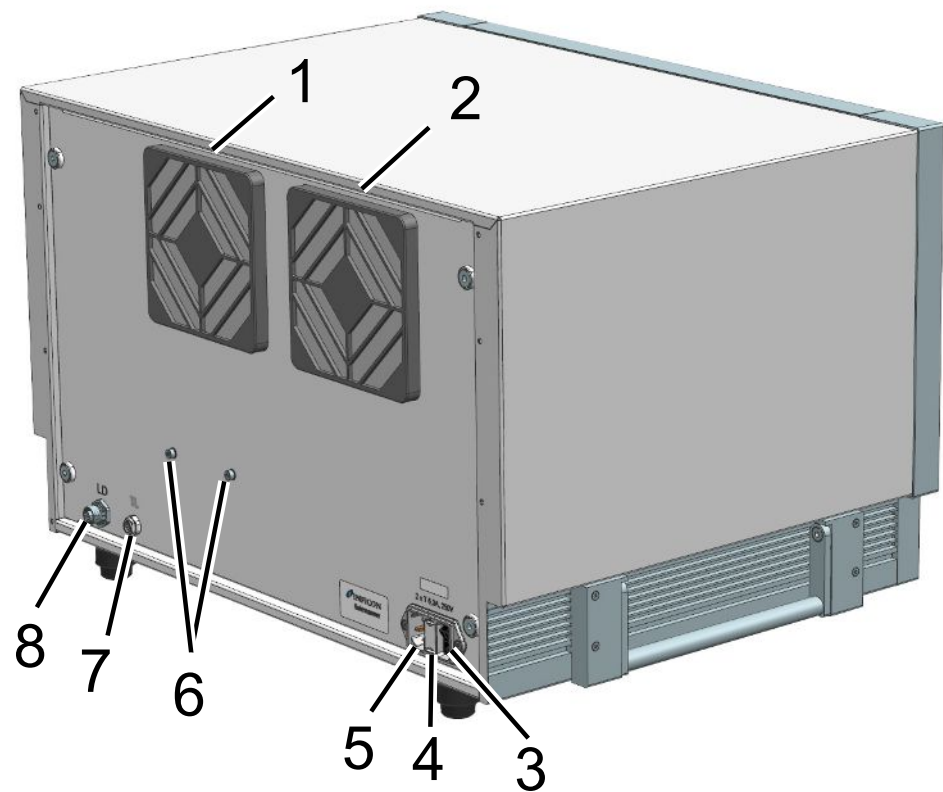


## XL3000flexRC: フロントビュー



1	スニファールラインSL3000XLの接続ポート	4	デバイスのステータスLED。ステータスLEDが連続的に点灯している場合、スニファールラインに電圧が供給されます。
2	データケーブルを外部コントロールユニットCU1000と接続するインターフェース		
3	スニファールライン用ホルダー取付位置		

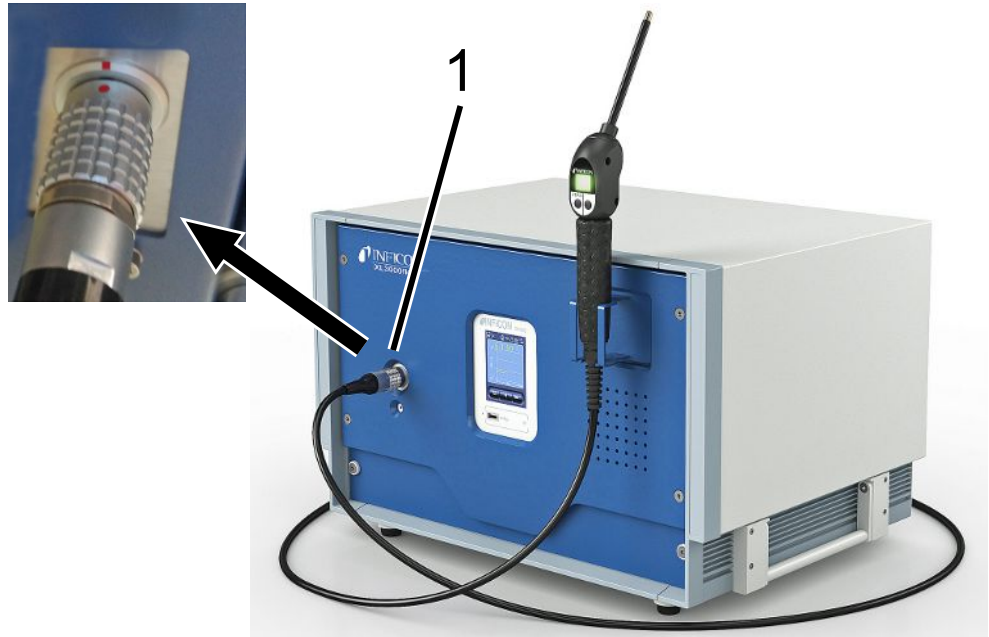
## バックビュー



1	換気ファンの吸気側フィルター	5	電源ケーブル接続ポート
2	換気ファンの吸気側フィルター	6	DINレール取付用ネジ (I/OモジュールIO1000またはバスモジュールを取り付ける場合はオプション)
3	デバイスの電源スイッチ	7	「TL」接続ポート。校正リーク用アダプターの接続ケーブル用
4	電気ヒューズ	8	「LD」接続ポート。I/Oモジュールまたはバスモジュールのデータケーブル用

## スニファラインの接続

デバイスを動作させる前にスニファラインを接続してください！



### 1 スニファラインの接続

1. スニファラインコネクタの赤いマークをユニットのソケットの赤いマークに合わせます。
2. スニファラインコネクタがロックされるまで、デバイスの接続ポートに差し込みます。コネクタが簡単には動かなくなります。

## デバイスの起動

- ▶ ユニット背面の電源スイッチを使用してXL3000flexをオンにします
  - ⇒ システムが自動的に起動します。
  - ⇒ スイッチを入れると、XL3000flexの前面カバーの緑のLEDが点灯します。

### XL3000flexRCのみ：データケーブルおよびCU1000の取り付け



- ▶ データケーブルを介して、リークディテクターと別個のCU1000を接続します。チューブ長さ<30 m。これには、装置前面のインターフェースを使用します。



#### 必要なアクセサリ

XL3000flexRCは、標準納品範囲ではデータケーブルおよびコントロールユニットCU1000なしで出荷されます。どちらも、本書で説明している機能に必要なものです。「アクセサリ」やCU1000コントロールユニットの取扱説明書も参照してください。

## 5 設定

### 言語の設定

ディスプレイの表示言語を選択します。工場出荷時の設定は英語です。(スニファーライン SL3000XL のハンドル上の表示には、ロシア語および中国語の代わりに英語でメッセージが表示されます)。

ドイツ語  
英語  
フランス語  
イタリア語  
スペイン語  
ポルトガル語  
ロシア語  
中国語  
日本語

コントロールユニット	メインメニュー > 設定 > セットアップ > コントロールユニット > 言語
LDログのエントリー数	コマンド 398
ASCIIログのエントリー数	*CONFig:LANG

### リークレート単位表示

真空またはスニファリングのディスプレイでリークレート単位を選択します

0	mbar l/s (工場出荷時設定)
1	Pa m <sup>3</sup> /s
2	atm cc/s
3	Torr l/s
4	ppm
5	g/a
6	oz/yr

コントロールユニット	メインメニュー > 表示 > 単位 (表示) > リークレート単位 SNIF
LDログのエントリー数	コマンド 396 (スニファー)
ASCIIログのエントリー数	コマンド *CONFig:UNIT:SNDisplay

## インターフェースのリークレート単位

スニファリング用インターフェースのリークレート単位を選択する	
0	mbar l/s(工場出荷時設定)
1	Pa m <sup>3</sup> /s
2	atm cc/s
3	Torr l/s
4	ppm
5	g/a
6	oz/yr
コントロールユニット	設定 > セットアップ > インターフェース > 単位(インターフェース) > リークレート単位 SNIF
LDログのエントリー数	コマンド 432(スニファアー)
ASCIIログのエントリー数	コマンド *CONFig:UNIT:LRSnif

## ガスの種類を選択

機械係数、校正係数、およびスニファアー係数は、設定された質量によって異なり、質量分析計モジュール内に保存されます。

2	H <sub>2</sub> (水素、フォーミング ガス)
3	<sup>3</sup> Heまたは重水素化水素(HD)
4	<sup>4</sup> He(ヘリウム)(工場出荷時設定)
コントロールユニット	メインメニュー > 設定 > 質量数
LDログのエントリー数	コマンド 506、値 2(3、4)
ASCIIログのエントリー数	コマンド *CONFig:MASS 2(3、4)





Due to our continuing program of product improvements, specifications are subject to change without notice.  
The trademarks mentioned in this document are held by the companies that produce them.